

ISSN 0387-7280

国際日本文学研究集会会議録(第17回)

PROCEEDINGS OF THE 17th INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE IN JAPAN  
(1993)

国文学研究資料館  
NATIONAL INSTITUTE OF JAPANESE LITERATURE

情報資料室

**PROCEEDINGS OF THE 17th INTERNATIONAL CONFERENCE  
ON JAPANESE LITERATURE IN JAPAN  
1993**

**National Institute of Japanese Literature**

1-16-10, Yutaka-cho, Shinagawa-ku,  
Tokyo, 142

# 第17回

## 目 次

挨拶	佐竹昭廣	3
<b>研究発表</b>		
浦島説話と柳毅伝 — 両作品の文学表現と神道教思想の受容 —	項 青	9
中世文学における講式の意義	Niels GUELBERG	24
雪のサンタマリア — キリシタン文学としての 【天地始まりの事】の比較文学的展望 —	小 島 瓔 禮	37
近世怪異説話における隠里、仙人と中国道教	王 建 康	51
羽衣説話の変容の研究 — 草双紙・タイ国仏教説話を中心に —	Suwattana ONSIRI	62
馬琴の水滸観 — 水滸の三隠微について —	李 樹 果	76
「雲」に託す鷗外と漱石の思い — 「青年」と『三四郎』との比較を通して —	曾 秋 桂	82
ディレクタント考 — 木下杢太郎の場合を中心に —	青 山 友 子	109
〈朝鮮〉から見た中野重治 — 植民地知識人の自画像を求めて —	申 銀 珠	121
能という表現の運命 — 三島由紀夫の「葵上」を解説する —	潟 沼 潤	145
<b>公開講演</b>		
女性の出家と古典文学 — 日本と西洋 —	Barbara RUCH	158
<b>記 録</b>		
第17回国際日本文学研究集会		178
参加者名簿		179
国際日本文学研究集会委員名簿		184



## 挨拶

佐竹昭廣

毎年この季節に当館で開催してまいりました国際日本文学研究集会も、回を重ねて今年で第17回を迎えました。今日と明日の二日間にわたって、十名の方々の研究発表と、本年度国文学研究資料館客員教授としてお招きいたしました、コロンビア大学のバーバラ・ルーシュ教授、もうお一方、現在実践女子大学教授日本美術史専攻の宮次男教授の講演も行われます。

今年の研究集会のプログラムも、資料館内外の委員によって構成される、国際日本文学研究集会委員会におはかりしました。発表者の選考から、内容に即した配分など、立案には何かと苦心も多かったと思います。

私ごとになりますが、私は長らく地方に住んでいたこともありまして、この研究集会には初めて出席いたします。発表者の皆様がそれぞれどのような角度から日本文学に対し、どのような研究の成果を示されるか、興味深く拝聴させていただきたいと思います。また、今日明日二日間の実績を踏まえて、来年度以降の国際研究集会運営の参考にもさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

発行

平成6年10月

編集兼発行者

国文学研究資料館

〒142 東京都品川区豊町1-16-10

電話 (03) 3785-7131(代)

印刷所

睦美マイクロ株式会社

〒135 東京都江東区東陽1-16-12

電話 (03) 5690-7275